



第 1333 回例会報告

平成25年9月26日(木) 晴

会長挨拶

会長 平山隆勇

心筋梗塞

私の診療所に通院していただいている 49 歳の男性に起こった病気についてお話します。この方には高血圧症、脂質異常症（コレステロールが高い）、軽症の糖尿病があります。7 月までは何も訴えていませんでしたが、8 月 7 日の朝、胸から顎にかけて苦しくなった（圧迫感～痛み）と言って来院されました。こちらに到着した時症状はほとんど改善していましたが、まだ少し残っているとので、早速心電図検査をしました。意外にも結果は正常で、今年 2 月に行ったものと変わりありませんでした。しかし症状はどうみても狭心症であったので、ニトログリセリンを舌下投与したところ、少し残っていた症状は無くなりました。早速病院の循環器科に受診の予約をしましたが、生憎予約が混んでいたため、8 月 13 日の受診予定となりました。間が 5 日あり少し不安でしたが、症状も無くなり本人も元気な様子であったので、余り無理をせず、胸痛が起ったら予約先の救急外来を受診するよう話し、ニトログリセリンを持たせて帰宅させました。ところが、この患者さんは思いもよらない行動をとったのです。受診後 3 日間胸痛が全く無かったので、8 月 11 日にゴルフに行ってしまったのです。ゴルフの予定があると聞いていれば止めたのですが、狭心症の疑いで精密検査を受けようという方が、何の相談も無くゴルフに行くとは予想もしていませんでした。ゴルフ中は何も無かったようですが、終了後の夕方 5 時頃胸が痛くなり、ニトログリセリンを使用しても痛みが持続したため、予約していた病院に救急受診しました。病院からいただいた報告によると、この時は心電図に異常を認め、緊急カテーテル検査で心臓の周りの動脈

のうち、一本の枝が 99%狭くなっていました。急性の心筋梗塞になっていたのです。カテーテルと呼ばれる細い管を挿入し、先につけた風船を膨らませて、血管の狭くなった部分を押し広げ、その部分が再び狭くならないように、ステントという金網の筒を入れる治療を受けました。幸い小さい梗塞であったため、患者さんは 10 日間の入院で済み、8 月 22 日には当院に挨拶にみえました。勿論、ゴルフに行ったことについて頭を掻きながら、「やばいとは思ったんですが、約束だったので」と話されていました。このお話から学ぶ点があります。狭心症、しかも心筋梗塞が迫った状態でも、心電図に異常がでないこともあるということです。逆に言えば、心電図に異常が無くても、狭心症や心筋梗塞になることはあるということです。心電図検査より、胸が苦しい（痛い）という自覚症状の方が大切

■出席報告

会員数	36名
出席対象	33名
出席者数	24名
出席率	72.7%
前回修正	87.9%

■ニコニコ BOX

18名	24,000円
累計	304,000円
目標額	130万円
達成率	23.4%

■今週のことば

明日85歳の誕生日を迎えます。お陰様でなんとか元気。これも諏訪湖クラブあつてのことと感謝します。

今後ともよろしく

岩村 亀夫

小林聖仁会員のことは次週記載します

■次回のプログラム

10月17日

諏訪圏工業メッセ見学会

諏訪市文化センター

受付開始12時

職業奉仕委員会



だということです。また、心筋梗塞がゴルフ場でしばしばおこることはよく知られていますが、ゴルフはそんなにハードなスポーツではありません。この患者さんは夕方心筋梗塞を起こしましたが、多くは朝9時から10時が多いようです。この頃血小板の働きが活発になり、血栓が形成されやすいと言われていますが、早朝の血圧上昇や脱水状態も関係があります。この例の様に、心筋梗塞は夕方から夜にかけて起こる場合もあり、食事や飲酒、入浴などがきっかけになると言われています。何よりもこの患者さんが心筋梗塞を起こしたのは、高血圧、糖尿病、脂質異常症があった上に、肥満、喫煙（1日40本以上）という多くの危険因子をもっていたことが最大の原因であったと思います。そして強調したいのは、ゴルフ場が体に悪いのではなく、ゴルファー自身のライフスタイルや体調管理に問題があったということです。寝不足や二日酔いのゴルフ、ストレスの多い接待ゴルフ等はなさらず、健康的なスポーツとして楽しんで下さい。

◇幹事報告◇

【例会予定】

10日	1335	ガールスカウト助成金贈呈 花岡悦子団長卓話	新世代奉仕
17日	1336	諏訪圏工業メッセ見学会 諏訪市文化センター 12時受付開始 詳細別紙	職業奉仕
24日	1337	ガバナー補佐事前訪問 例会後クラブ協議会	会長・幹事
31日	1338	長野日報編集顧問 伴在賢時郎氏卓話	クラブ会報、雑誌広報委員会

第 1333 回例会

社会奉仕委員会

諏訪圏青年会議所
山田昌義副理事長卓話

他団体の奉仕活動に学ぶとの名題のもとに、先月の沖野先生の卓話に続き、今回は諏訪圏青年会議所の山田昌義副理事長を講師に、卓話を

いただきました。

昨年、委員長として山田さんが取り組んだ諏訪圏かるたのを中心、青年会議所が行っている社会奉仕(まちづくり)事業について説明、紹介をしていただきました。組織の中から、そして地域へ、周りを巻き込み、説得して考え、出来る限りのことを精一杯、行ったことが伝わり、私たちの活動にもつながる意気込みを感じました。



ロータリークラブにも言えることではありますが、1年、1年の単年度の制約はありますが、どのように周りに奉仕の意義とニーズを伝え、アイサーブであったものをウイサーブへつなげていくか、山田さんも私たちと同じ所で歩いていくことと感じました。

2年後、諏訪湖ロータリークラブの仲間として一緒に活動が出来ることを願って、例会を無事終了しました。山田さんが今後、諏訪圏の歴史を子供たちに伝え、つなげていきたいと願った諏訪圏かるたを多くのメンバーが購入いただき、感謝申し上げます。

